

令和２年度 第１回（第１８回）外部アドバイザー委員会報告書

- 1 開催時期 令和３年３月
- 2 開催方法 書面郵送による意見聴取（Ｅメールまたは文書返送）
- 3 委 員 大島委員, 山本委員, 佐藤委員, 姫路委員, 浪速委員, 海本委員, 江島委員
- 4 外部アドバイザー意見及び市立短期大学回答

【意見１】企業等との共同研究

共同研究の受け入れができないと記載されていますが、これはぜひ制度を変えていただいて、特にアパレル関係の地元企業との共同研究を実施できるようにできるとよいと感じました。教員だけでなく学生の社会との接点にもなるように思います。

【回答１】

本学では、倉敷市内の企業等との共同研究制度として、平成１６年度から倉敷市産学共同研究事業を実施しています。しかし、本学は自治体直営であるため、例えば、企業等からの研究助成金や備品の提供を受け入れておらず、共同研究の充実にむけた課題となっています。そうした中、他の公立大学の状況を調べたところ、いくつかの大学に共同研究制度があることがわかりました。共同研究には、地域連携・社会貢献や、学生の教育・キャリア支援としても意義があることは承知しておりますので、学内で調査研究を進めた後、こうした制度の導入がどのようにすれば可能かを設置者と検討したいと考えます。

【意見２】コロナ禍での学校運営

アドバイザー会議の資料に「コロナ禍で問題を抱えた学生のケアに教職員全体で取り組んだ」という記述があり、心強く思いました。今後も孤立しがちな学生を支えてほしいと思います。だからこそ、きめ細かな教職員のフォローとともに、カウンセラーの配置は必要と考えます。大学を設置し、未来ある若者を受け入れているのであれば、欠かせない投資だと考えます。

コロナ禍で経済的に厳しい学生へのフォローはできているのでしょうか。学問を続けていくことができるように支えてほしいです。遠隔授業では、パソコン購入や Wi-Fi 環境の整備が必要になると思います。用意しづらい学生がいるのであれば支えてほしいです。

【回答２】

コロナ禍における学生支援に関しては、今後も全学的に支援してまいります。カウンセラーの配置に関しては、長年にわたる本学の懸案事項であり、協議を継続しております。また、全学生に向けては、日本学生支援機構「緊急特別無利子貸与型奨学金」をはじめとする各種支援制度の周知・集約・申請を行っております。遠隔授業の実施にあたり、パソコンや Wi-Fi の環境が整っていない学生については、学内入構及び学内のパソコン等機器の使用ができるよう支援を行っております。

【意見3】志願者確保

会議資料によると、出願者が年々減る傾向のようですが、新たな対策はあるのでしょうか。2021年度の入学試験実施結果によると、服飾美術学科は、志願者数と合格者数が同じ状態にあります。学校推薦型Aの入試では、倉敷市内の志願者はゼロです。繊維のまち・児島地区にある市立短大として、受験生や高校の教職員はもちろん、地元の経済界など外部へのアピールが必要でしょう。

去年はオープンキャンパスをオンラインで行ったようです。受験生への反応はどのようなものだったのでしょうか。今年はどんな形式で行う予定ですか。

【回答3】

服飾美術学科の受験者数を増やす今後の方策として、これまで以上に繊維のまち児島地区で学ぶことの意義を授業カリキュラムに反映させ、かような特色を有する当学科を倉敷市内はもちろん、広く市外の関係者等に対し積極的に働きかけることで、当学科を認知、理解してもらう取り組みを行いたいと考えています。

オープンキャンパスについては、保育学科では常時閲覧可能なオンラインページを随時更新していく予定です。オンライン相談会については、今年度は、5月から月1回実施して、受験生と双方向でコミュニケーションをとり、本学へ関心をもっていただきます。服飾美術学科では、今年度は第1回オープンキャンパスをライブ配信にて6月に、相談会は同日オンラインにて行い、7月から9月まで毎月1回のオンライン相談会を設けるとともに、複数回のオープンキャンパス開催を予定しています。

【意見4】マスコミへの広報

短大の取り組みを広く知ってもらうため、広報を行った方がよいと考えます。コロナ禍が続く、外部へのアピールが難しいとは思いますが、短大側からもっと発信してもよいのではないのでしょうか。記者クラブに広報するのはもちろん、出入りしている記者にもメールするなど「一声」かけてもよいと思います。広報しても紹介されることが少ないかも知れませんが、記者の心に留まることは多いと思います。広報担当の教職員を設けてもよいのではないのでしょうか。

【回答4】

今後は昨年行ったFDSD（大学広報戦略）等も参考にし、公立短大であるゆえの制約も加味しつつ、本学らしい効果的な広報活動に取り組んでいきたいと思っています。

【意見5】就職

服飾美術学科での「児島商工会議所とタイアップした企業説明会」は、どのように行い、成果はありましたでしょうか。

保育学科では、保育士就職の優遇措置制度で、活用した学生はこれまでにいたのでしょうか。制度についての現状と課題があれば聞きたいです。

【回答5】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度の開催は行いませんでした。本年度以降、企業説明会開催に向けて積極的に準備を進めていきたいと考えています。

倉敷市では、大都市圏からの移住者を対象とした保育園等への就職支援金交付事業が創設されていますが、中四国・九州からの入学が多い本学の学生には利用しづらいことが課題です。